

子どもたちのためにできること

新しいビーチの楽しみ方を提案 青島ビーチパーク

青島海水浴場の利用者は減少し続けていて、天候不順の影響もあり平成26年は約7万人にまで落ち込んでいました。市では、青島地域の魅力を再び取り戻すために民間事業者と連携し、平成27年7月に青島ビーチパークが誕生。海水浴場には約2か月で17万人もの人があり、大きな話題となりました。今年はゴールデンウィークから営業を開始。マリンスポーツやヨガ、食事など、海水浴以外にも海を楽しもうという動きが広がっています。

主な取り組み②

新たな価値を創出します!

民間事業者のノウハウを活用し、サービスを強化させることで、まちの魅力を高め、稼ぐ力を向上させます。



民間事業者と協働して青島に新たな価値を生み出します!

観光戦略課 主査 長友 亮

他にもこんな対策を進めます

雇用を生み出す

若い世代や移住者の受け皿となる、雇用の場をつくり出します。特に、中心市街地にはICT関連企業を中心としたクリエイティブ産業を集め、若い世代が魅力を感じるように環境を整えます。

企業も集まって連携!



中心市街地ではICT関連企業などが集まり、人材の確保や育成、PR活動などで連携しています。

農産物をブランド化

新たに農業を始める人材の育成や、ICT(情報通信技術)を活用して農業の省力化や大規模化を図って、品質や生産性の向上を後押しします。豊富な農産物を生かしたフードビジネスを推進します。

商談会で販路も開拓!



農産物を売り込む商談会を開催。市の農産物の魅力をアピールしています。

移住者を増やす



宮崎市に移住したいという人のニーズに応えるため、住まいや仕事などに関する相談の受け付けや移住セミナーの開催などのほか、移住者に関する情報を発信しています。

コンシェルジュが対応

宮崎市移住センターには移住コンシェルジュが常駐。移住希望者のさまざまな相談に丁寧に対応しています。

特集に関する
ご意見を
お寄せください

アンケート
フォームは
コチラ



な負担を掛けないようにするには、不可欠です。市の取り組みを説明します。

大切な施設はまとめて新しく!!

老朽化した地域の施設を統合 青島地域複合型防災施設

青島地域の公共施設は、南海トラフ巨大地震が発生した場合、津波による大きな被害が想定され、災害時の活動拠点として機能しない恐れがあります。市では、建築後30年を超え、大規模な改修時期を迎える4つの施設(青島地域センター、青島保育所、青島児童センター、青島公民館)を統合した、複合型防災施設の整備を進めています。なお、4つの施設を個別に建て替えるより、約1億8,000万円の経費が縮減できると試算しています。

主な取り組み①

支出を減らし 収入を確保!

公共施設は最適な量を持ち続けることとし、ランニングコストの削減や使用料などの見直しを進めます。



さまざまな工夫や見直しで健全な財政運営に努めます!

財政課 公共施設経営室 主査 吉瀬 晋司

他にもこんな対策を進めます

支出を減らす

市役所第四庁舎 立体駐車場

廃止

市役所第四庁舎立体駐車場は、平成28年度までに6000万円の修繕費が必要だったことから、今後も保有することが適切かを検討。廃止し、民間駐車場を活用することで、年間300万円以上の支出を減らすことができました。



収入を確保

旧宮崎市南消防署 大塚出張所

売却

建築から30年以上が経過した旧宮崎市南消防署大塚出張所は、既に消防出張所としては使用されていないことから、売却を決定。売却で得られる収入は、防災拠点である消防庁舎の長寿命化を図る事業に充てます。



本市では今後、施設や公園などに企業名などを命名できる制度を導入していきます。県内では、メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)、KIRISHIMA ヤマザクラ宮崎県総合運動公園(宮崎県総合運動公園)などがあります。

水道料金を10月1日から改定します!

宮崎市上下水道局では、水道料金(簡易水道料金を含む)を平成28年10月1日の使用分から改定します。今回の改定にあわせ、口座振替の方は2か月分の一括払いか、毎月払いを選択することができます。



Q. どうして改定するのですか?

A. 南海トラフ巨大地震に備えた水道管の耐震化や、老朽化施設の更新に多額の費用が必要です。また、将来にわたり安全で安心な水の安定供給を維持するために必要な改定です。ご負担をお掛けしますが、ご協力をお願いします。



上下水道局 財務課 経営戦略室長 渡辺 俊輔